

1 第1期実施計画における記載内容（第1期実施計画19頁より）

普通科と工業科を併設するメリットを最大限に活用し、普通科の生徒のキャリア教育の充実や工業科の生徒の大学進学等へ向けた基礎学力の向上等に学校全体で取り組み、多様な進路志望に対応します。

2 普通科と工業科の連携

論 点

4校から提示された案をもとに、普通科と工業科の連携方策として、具体的にどのようなことが考えられるかという視点で協議する。

【普通科と工業科の連携の方向性】

【4校からの提案内容】

<p>金木高校</p>	<p>○総合的な探究の時間における連携 普通科と工業科が意見を出し合い、それぞれの得意分野を生かして協働作業をすることで、探究活動を深めることが考えられる。</p> <p>○資格取得や進学講習等における連携 主に普通科で受検している検定試験や主に工業科で取得している資格をそれぞれの学科で取得できる可能性が広がる。 工業科との連携により、普通科生徒の大学推薦入試やAO入試対策の指導内容として工業や情報に関する内容を盛り込むことができるようになる。 普通科との連携により、工業科生徒に対する進学講習が効果的に実施できるようになる。</p>
<p>板柳高校</p>	<p>○普通科と工業科の協働作業 例えば、工業科の生徒がアクセサリーを製作し、普通科の生徒がパッケージをデザインして販売実習を行う等、総合的な探究の時間における普通科と工業科の協働作業が考えられる。</p>
<p>鶴田高校</p>	<p>○教育課程の編成 普通科の生徒が、工業と商業、双方の基礎的知識が得られるよう、工業科と商業科の科目を普通科の選択科目に位置づけること等により、工業の素養を備え、かつ商業の資格を持ったビジネスマンを輩出できる。このことは統合校普通科の特色になり得ると考えられる。</p> <p>○進学指導体制の整備 普通科の生徒に向けた進学講習や模擬試験等を実施するなどの進学指導体制を整備することで、工業科から大学進学などを目指す生徒の指導にも役立てることが考えられる。</p> <p>○普通科と工業科が連携した国際理解学習・地域振興への取組 普通科の生徒と工業科の生徒が、ともに手を取り合って英語合宿や海外研修旅行、English Day、地吹雪体験ツアー、恩返しプロジェクト等の活動に取り組み、工業の視点を持ち、かつ広く国際的な視野に立って地域振興を考えられる人財を育成することが考えられる。</p>

<p>五所川原 工業高校</p>	<p>○資格取得への取組 共通企画による講習会等の実施により、工業科に関連する資格等を普通科生徒も取得できる体制づくりが考えられる。</p> <p>○探究型学習への取組 工業科の課題研究への取組をベースに、普通科における探究型学習の展開が考えられる。</p> <p>○工業科と普通科の新カリキュラム 工業の専門学科との連携により、文理類型にこだわらない科目履修ができるカリキュラムの編成が期待できる。</p>
----------------------	---